

今開かれる とびら の向こ
うにあるものは……

皆龍寺報 とびら

創刊号

1987年 5月5日 (火) 発行
〒990-01 山形市大字門伝100
皆龍寺 ☎ 43-3037

六月一日 俳優の三国連太郎氏、皆龍寺へ！ 午後1時 親鸞を語る

<トピックス>

高校生 映画会 スターと語る

白い道

高校生という新鮮な感覚で親鸞と
いう人を見てみませんか。

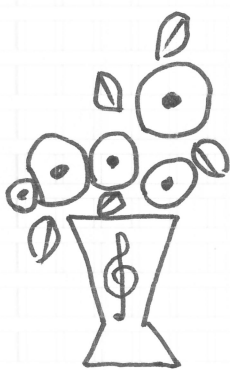
映画「白い道」を見て、その脚本・監督
と自らを演じた三国連太郎さんに いろんな質問
や感想を話してみませんか。この行きがた
た現代にこの映画は何を訴えかけている
のか。本当に生きることの意味は何なのか。
その他 それぞれの所で いろんな問題
が出てくると思います。

● 5月31日 午後4時半 皆龍寺集合
三国連太郎さんと会食



小説『白い道』は発刊されて
だいぶなりますが、このたびそれ
が映画化されるようになりまし
た。これも映画のために書かれたもの
はありますが、三国氏は、何度と
なく越後に足とほこばれたり、い
んな先生にたずねられて、今度の完
成に到ったわけではあります。
この三国師の作品は、緻密な内容
だけでなく、三国師の鋭い感性によ
って親鸞を描いてありますので、
私たちが真宗阿徒においても学ぶと
ころが多々であります。

に、かめめので離れと積に問はてと姿の泣しの
おうと無て喜していしんや救即で姿くけ立嬉
念、小限じひ、れ煩てでる修わ身導一なかれつし
仏さてのそをうる悩生と業れ成、心のよほ時い
と、い慈人、己に、ま申でぬ、仏のにむい、誰に時
申今る悲、人間人れよ人にせか、しでおす、にはほ
し日このじら間を、ほままな人よ可念、そも怒喜
まもとカめしと見てむまし、間う、仏あれ遠、じ
し法をにてま生い冷し仏、りらと自をるが慮、な
も然知よ人のま出たうにう捨し、カ初、本はま
う房う、ほ中れすく遊、な、てまてにえま来要いれ
せとてで強、ににだ突けう行てをもよるまのら。
し、共し生、際求そけきかうと何学人、この人ぬ悲腹



記事は
が提供してくださりました。
ありがとうございます。

S. 62・5月1日 日本農業新聞

ベテラン俳優 三国連太郎 東国へ旅立つところから
優の三国連太郎 始まり、旧来の仏教と闘い
郎が、十五年 ながら布教活動を進め、己
がかりで構想の道を切り開いて行く。
を練りあげた 親鸞の生涯の中で、この
同名小説の映 時期が最も劇的なエピソードが
を背景に、浄土真宗を開いた 念仏布教のし烈な
た高僧・親鸞 (しんらん) 戦いとその成
の苦行の平生 果を映像化し
記を描く。監 た。中でも
督、脚本・三 仏教の尖(せ
国連太郎。 心、兵ともい
映画で描か える山伏・修
れる親鸞、善 験者と、新し
信(森山潤久) い仏教の闘い
は、四十歳か を描くことに
ら六十歳ま よって、日本
で、流罪を解 史の中で決定
かれて越後か 的な役割を果
たした精神革
命のあり方を
クローズアップ
する。

念仏布教の闘い描く

—松竹—

親鸞・白い道

出演はこのほか、大楠道代、泉谷しげるら。
(九日公開)
写真：雪の中を東国に向け旅立つ親鸞(森山潤久)

